

生命倫理を考える

研究者プロフィール

- ・ 法学部法律学科教授 陶久利彦
- ・ 専門分野：法哲学
- ・ 研究分野：法学方法論、生命倫理と法
- ・ 所属学会：日本法哲学会、IVR日本支部
- ・ 主な経歴、著書：東北大学大学院法学研究科博士課程後期課程退学、東北大学法学部助手、東北学院大学法学部講師、同助教授を経て、同教授。
『法的思考のすすめ 第2版』（法律文化社、2011年）

研究内容

- （1）妊娠時の出生前診断の結果を受けて妊娠人工中絶をすることの是非を、法的及び道徳的に検討する。
- （2）法的思考の典型例として裁判官のそれを念頭に置き、具体的判決例を素材にしながら、裁判官の論理構造を批判的に検討する。
- （3）日常生活を律している規範や生活態度を振り返り、法との連続性を検討する。

関連キーワード

- （1）法的思考、（2）出生前診断、（3）人工妊娠中絶

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ 他

- （1）地域住民への法教育を、特に思考の在り方に力点を置いて組み立てる。
- （2）出生前診断や人工妊娠中絶の例を素材にして、人権を中心にした性教育を支援する。

研究者への連絡先

suehisa@mail.tohoku-gakuin.ac.jp, 022-721-3497（研究室）